

第11旅団創立記念行事 真駒内駐屯地開庁記念行事



連隊は、6月25日(日)第11旅団創立15周年・真駒内駐屯地開庁69周年記念行事に参加した。
当日は、曇りつつない快晴の下自衛官候補生21名も連隊の一員として参列し、威風堂々とした姿で旗本連隊としての威容を誇示した。
本行事は4年ぶりに一般公開し約1万1千人が来場される中、札幌市長をはじめ多くの来賓から激励を受け、連隊は期待される任務の崇高さを再認識するとともに、この記念すべき結節に気持ちを新たに「向上」「連携」を合言葉に「所命必遂」できる連隊を目指し、「二歩二歩着実に前進」していく。



発行所
もくれんOB会
協賛
札幌市
自衛隊協力会

〈発行印刷会社〉
株式会社
横山プリントサービス社
TEL. 011-669-3915
FAX. 011-669-3916



7月23日(日)真駒内駐屯地において連隊創立69周年記念行事として、感謝状贈呈式、大運動会、記念会食を盛大に開催した。
感謝状贈呈式においては、永年にわたり連隊にご協力・ご支援をいただいた各協力団体の方々に対し、これまでの感謝の意を表し、連隊長より感謝状を贈呈した。
続く大運動会では、中隊対抗種目の綱引き、大相撲、リレー種目の他、親子綱引きやちびっこふれあい相撲の家族種目を追加して内容の充実を図るとともに、連隊らっぱ競技会を合わせて開催し、自衛隊の理解促進を図った。
また、もくれんOB会が主催した記念会食では、各自治体首長、協力団体及び隊員ご家族を迎え、4年振りにアサヒビール園で大いに盛り上がり、笑顔で交流を図ることができた。

連隊創立69周年記念行事



連隊シンボルマーク
平成15年10月に現連隊最先任上級曹長である高橋准尉によってデザイン、作成されました。
シンボルマークには、
・精強性「白頭鷲」
・迅速性「稲妻」
・勝者の証「月桂樹」の意味が込められています。



細かい彫刻ブロックの取り付け

プロジェクションマッピングと大勢の観客



完成した大雪像「豊平館」と制作隊の隊員

連隊は、2月4日(土)から2月11日(土)まで開催された第73回さっぽろ雪まつりにおいて、第2雪像制作部隊としてメイン会場の大通8丁目会場を飾る純白の大雪像「豊平館(ほうへいかん)」を制作し、彩りを添えた。
「豊平館」は、明治時代初期に北海道開拓使によって建てられた木造の西洋式ホテルで、明治天皇も利用された由緒ある建造物であり国の重要文化財にも指定されている札幌市を代表する歴史的建造物である。
3年ぶりの本格開催となったさっぽろ雪まつり、今回は「豊平館」と振り返る札幌の100年」と題して札幌市政100周年を記念してプロジェクトにも力が注がれ、昼夜を通じ観光客の皆様に魅了した。
連隊は、大雪像の制作において永年にわたり技術部長を努めた二唐准尉が昨年定年退職され、制作経験の有する隊員も異動等により減少するなど当初は制作に不安もあったが、そこは新技術部長の1中隊細川1曹を始めとした熟練の隊員が中核となり連隊が誇るアイスブロック工法により、伝統の技を魅了した。アイスブロックで使用される雪には、標高の高い中山峠の頂上付近で採取できる真っ白な雪を使用するこだわりや、細かい彫刻が施されたアイスブロックの仕上げには、素手で表面を撫でて溶かし、水の膜を張りさせる徹底ぶり、このこだわりと愛情を込めたひと手間によって雪像を青白く美しく輝かせた。
本雪像の制作にあたっては、第2雪像制作隊長(前第1普通科中隊長 古川1尉)がスローガンとして掲げた「二丸(みんなの力を一つに)」を合言葉に所命必遂するとともに、後輩隊員に伝統の技を引き継いだ。

第73回さっぽろ雪まつり大雪像制作

連隊花 木蓮



木蓮が「十・八・連」の合字であることから、連隊花として制定されました。
第5代連隊長・高木成助1等陸佐が考案され、連隊隊舎東側に植樹されている木蓮は、毎年5月上旬に鮮やかな薄桃色の花をさかせ、連隊に春の訪れを告げるとともに、連隊を温かく見守っています。

コロナ禍が明け訓練公開を再開

自衛官候補生25km徒步行進

連隊は、6月2日(金)北海道大演習場西岡地区において、令和5年度自衛官候補生課程25km徒步行進を実施するとともに、自衛隊の理解促進を図るため、本訓練を隊員家族に公開した。

当日は、天候にも恵まれ、家族に見守られる中歩き始めた自衛官候補生達は、終盤に差し掛かると、起伏のある地形や背のうや装備品の重さも相まって、それぞれに疲れが見える場面も散見されたが、お互い声を掛け合い励まし合いながら一人の脱落者も出さずことなく目的の地まで完歩した。

現場で見学されたご家族の皆様からも「遅しく成長した姿にとっても感銘を受けた。」等のご感想をいただいた。自衛官候補生は、入隊式の再会を果たし、時折笑顔や安心した様子を見せ、充実した様子であった。



4月4日(火)から4月6日(木)までの間、民間企業の新入社員2名を対象に約4年振りとなる隊内生活体験(体験入隊)を実施した。

入隊者は着隊するや、早速着慣れない迷彩服に身を包み、緊張の面持ちで入隊式に臨んだ。その後、人生で初めて教わる基本教練では「気を付け」「敬礼」「直れ」「休め」の号令に当初はぎこちない動作であったが、約1時間の体験で節度ある動作に変わり、現職隊員にも負けず劣らない練度まで到達した。

2日目の12km徒步行進体験では、履き慣れない半長靴で高低差の大きい演習場内を悪戦苦闘しながら行進したが、途中の大半止において喫食した戦闘糧食は「美味しい」「毎日食べたい」など、とても好評であった。行進終了の直前には、仲間が負傷したという想定で状況が付与され、各体験入隊者は疲労困憊の中最後の力を振り絞って負傷者を担架に乗せ、目的の地まで搬送したところで状況終了のホイッスルが鳴り、全てのカリキュラムを終了した。

入隊式は2人とも不安と緊張の面持ちであったが、修了式では自信に満ち溢れた顔つきとなり、遅しく成長した姿を目的の地に着いた会社の上司は、この体験入隊に参加させて本当に良かったと後に所見を述べられた。

このように、コロナ禍で中止を余儀なくされていた体験入隊も再び実施しており、新入社員を遅しく成長させる絶好の機会であり、我々としても訓練の一端をご理解いただける場として考えておりますので、是非各企業様からのお申し込みをお待ちしております。詳しい申し込み要領は8面をご覧ください。

120mm迫撃砲射撃

連隊は、6月7日(水)北海道大演習場島松地区において、令和5年度連隊第1次火砲射撃の一環として実施した120mm迫撃砲射撃を札幌市自衛隊家族会5名に公開した。

本訓練では、少ない実弾射撃機会を最大限活用し、日頃の訓練成果を発揮して所望の成果を挙げるべく、時折雨が混じる天候の中であつたが、隊員一人ひとりが真剣に集中して取り組み、訓練公開に参加した家族会会員の方々からは、「間近で見る実弾射撃に圧倒された」「普段見ることのできない訓練風景を見られて良かった」「隊員の澆測とした姿を見て頼もしく感じた」「今の自衛隊の携行食は美味しい！」など、数々の感想をいただいた。

連隊は、ここ数年にわたりコロナ禍で協力団体の方々との交流に制限を受けていたが、今後はこのような訓練公開の場を増やして積極的に交流を図り、顔の見える関係を構築するとともに、自衛隊の理解促進を図っていく。



北海道を歩こう支援



連隊は、5月21日(日)に開催された札幌市内真駒内から国立公園支笏湖までを歩く民間イベント「第46回北海道を歩こう」において、給水支援を実施した。

昨年度はコロナ禍であつたため、マスク着用や人数制限など制約のある中で開催であったが、今年度はコロナ禍が緩和となり、参加者は、清々しい気持ちで本イベントに参加した。当日は生憎の雨模様で肌寒い気象状況であったが、7歳から90歳まで幅広い年齢層約800名が参加をし、連隊がコース上の休憩地点に準備をした水トレイの水を飲んだり、顔や手を洗ったりと思いきい思いに利用され、多くの参加者から感謝の言葉をいただくことも、陸上自衛隊の隊員・装備品を間近で「見る」「触れ合う」により広報効果の獲得にも繋がった。

今後も引き続き、東月寒セーフティフェスタ、さっぽろ雪まつり大雪像制作、札幌スキーマラソン支援等、積極的に支援・協力していく。

新入社員の初仕事は体験入隊

連隊を力強く支える各協力団体の紹介



いっばち会は、旅団友の会に入会し「一日体験入隊」された方々で構成され、会員相互の切磋琢磨・情報交換及び親和団結を深めるとともに、連隊と密に連携して自衛隊の発展に寄与することを目的とし名誉会長の川村昭範氏、会長の中崎義昭氏の他35名で日々精力的な活動を行っている。

連隊の各種競技会、訓練隊への激励のほか、さっぽろ雪まつり会場における雪像制作隊への激励、連隊創立記念行事への参加等、年間を通じ連隊に寄り添う支援を実施していただいているほか、今年の5月24日(水)には、コロナ禍で約4年間実施できなかった懇親会を開催し、連隊といっばち会の懇親を深め、良好な関係を構築した。

いっばち会



自衛隊協力会は、自衛隊の活動を理解し協力するとともに、駐屯地等自衛隊施設の見学や定期総会等を通じて、自衛隊との交流を深めている。

構成は各地域毎に分かれ、道内の様々な駐屯地、航空基地等に足を運び駐屯地での史料館の見学を始め、ヘリコプター、車両等の体験搭乗、隊員食堂での喫食等、様々な視点から見学をして、自衛隊の活動への理解を深めている。入会についてはどなたでも可能となっている。問い合わせ先は本紙8面参照

自衛隊協力会



もくれんOB会は、第18普通科連隊に所属し定年された方々で構成され、会長は第22代副連隊長である鷺澤 洋一郎氏が務める。会員数は約200名であり、活動内容は定期総会、年2回の本機関紙「もくれん」の発行、連隊の各種訓練・さっぽろ雪まつりや連隊創立記念行事及び訓練隊への激励等により、連隊を温かく支えていただいている。

併せて、OB会会員相互の親睦融和を図るため、過去にはパークゴルフ大会、ボーリング大会、訓練見学会及び懇親会を実施している。今年の7月8日(日)にはコロナ禍で約4年間実施できなかった懇親会を開催してOB会の方々とのさらなる懇親を深めた。またOB会は会独自に米寿を迎えられた会員に対し佐官のデザインに仕立てた識別帽を贈呈する等、会員相互においても親密な関係を構築している。

もくれんOB会



「隊友会」は国民と自衛隊との架け橋として、陸・海・空の自衛隊退職者を中心に組織された団体で、防衛及び防災関連諸業務に対する各種協力、自衛隊に対する協力、殉職隊員及び戦没者等の慰霊顕彰、地域社会の健全な発展に寄与する活動等を行っている。

この中の隊友会真駒内支部は、公益社団法人「隊友会」の一地域支部で、支部長 野村 武昌氏以下、真駒内・澄川に居住する自衛隊OBを中心に約200名の会員をもって組織され、真駒内駐屯地所属部隊に対する支援協力や地域社会に貢献する活動を行っており、第18普通科連隊とはカウンターパートとなっており、相互に連携している。

さっぽろ雪まつりでの雪像制作期間中においては制作隊への激励をしていただく等、精力的な活動を行っている。今年5月28日(日)には、コロナ禍で約4年間実施できなかった懇親会を行い、さらなる懇親を深めた。

隊友会真駒内支部

転出者

転入者

- ◆「令和4年度後期」
- ◆「連隊本部」
- ◆2等陸佐
- 樋田 純(札幌・北部方面総監部防衛部へ)
- ◆1等陸尉
- 新井 克弥(宮古島・宮古警備隊へ)
- 山下 敏和(富士・富士学校へ)
- ◆「本部管理中隊」
- ◆2等陸尉
- 澤井 豊(久居・久居駐屯地業務隊へ)
- 永島 義紀(真駒内・真駒内駐屯地業務隊へ)
- 細川 貴子(宮古島・宮古警備隊へ)
- ◆陸曹長
- 赤間 雄介(札幌・北部方面総監部付隊へ)
- ◆1等陸曹
- 早坂 洋(仙台・東北補給処へ)
- ◆2等陸曹
- 佐伯 貴浩(石垣・八重山警務備隊へ)
- 柴崎 公宏(東千歳・北部方面混成団本部へ)
- 紫菜 健太(真駒内・冬季戦技教育隊へ)
- 中嶋 信秀(仙台・仙台病院へ)
- 石井 智也(新発田・第30普通科連隊へ)
- ◆「第1普通科中隊」
- ◆1等陸尉
- 古川 哲也(大村・第16普通科連隊へ)
- ◆准陸尉
- 板宮 知弘(真駒内・第11旅団司令部付隊へ)
- ◆2等陸曹
- 門傳 卓也(旭川・第52普通科連隊へ)
- ◆「第2普通科中隊」
- ◆3等陸佐
- 佐怒賀亮太(熊本・熊本地方協力本部へ)
- ◆2等陸曹
- 伊藤 克昌(函館・第28普通科連隊へ)
- 根本 実成(旭川・第26普通科連隊へ)
- ◆3等陸曹
- 小山田 司(新発田・第30普通科連隊へ)
- ◆「第3普通科中隊」
- ◆2等陸曹
- 菅井 浩治(遠軽・第25普通科連隊へ)
- ◆3等陸曹
- 清水 碧(東千歳・第1陸曹教育隊へ)

- ◆「本部管理中隊」
- ◆陸曹長
- 米田 恵介(令和5年7月9日)
- ◆2等陸曹
- 小日向義光(令和5年1月26日)
- ◆「第1普通科中隊」
- ◆陸曹長
- 金澤 守(令和5年5月4日)
- ◆1等陸曹
- 奈良 定広(令和5年7月13日)
- ◆「第2普通科中隊」
- ◆准陸尉
- 梁矢 直寛(令和5年3月1日)
- ◆陸曹長
- 石田 政広(令和5年2月21日)
- 山下 元(令和5年7月14日)
- ◆1等陸曹
- 阿曾 達(令和5年5月12日)



連隊での勤務は、楽しいことも苦しいことも仲間と一緒に乗り越えてきました。特に、1中隊在職中にスキー競技会で10連覇を達成し祝勝会でお酒を飲めたときは至福のひとつでした。最後に「今の気持ち」と掛けて「駐屯地正門から見える建物」と説きます。その心は「感謝(官舎)」しかありません。よねっちはです。(「◇」)ゞ皆様、本当にお世話になりました。本部管理中隊 米田准尉

- ◆「第3普通科中隊」
- ◆陸曹長
- 平下 謙一(令和5年1月14日)
- 太田 広一(令和5年4月17日)
- ◆1等陸曹
- 佐藤 敏将(令和5年3月18日)
- 作間 幸一(令和5年3月24日)
- 中村 裕一(令和5年7月22日)
- ◆「第3普通科中隊」
- ◆2等陸曹
- 細川 大地(相浦・第1水陸機動連隊から)
- ◆2等陸曹
- 小出 明生(福岡・第19普通科連隊から)
- 安藤 浩士(真駒内・第11旅団司令部付隊から)
- 西沼 佑司(遠軽・第25普通科連隊から)
- ◆3等陸曹
- 山田 啄也(旭川・第26普通科連隊から)

- ◆「令和4年度後期」
- ◆「連隊本部」
- ◆3等陸佐
- 鷺澤 浩文(青森・第9師団司令部から)
- ◆1等陸尉
- 佐々木兼吾(豊川・第49普通科連隊から)
- ◆「本部管理中隊」
- ◆1等陸尉
- 大宅 勝(金沢・第14普通科連隊から)
- ◆陸曹長
- 柴田 頼明(練馬・第1普通科連隊から)
- ◆2等陸曹
- 大関 章宏(高田・第2普通科連隊から)
- 下山大次郎(真駒内・第120教育大隊から)
- 佐竹 智樹(真駒内・真駒内駐屯地業務隊から)
- ◆「第1普通科中隊」
- ◆3等陸佐
- 高見 正明(富士・富士学校から)
- ◆2等陸曹
- 佐藤 清二(滝ヶ原・普通科教導連隊から)
- 栗田 大樹(北千歳・評価支援隊から)
- 上野 快(富士・富士教官付隊から)
- ◆3等陸曹
- 中村 信貴(習志野・第1空挺団第3大隊から)
- ◆「第2普通科中隊」
- ◆3等陸佐
- 谷田部卓彦(守山・第10師団司令部から)
- ◆1等陸曹
- 大橋 敬裕(土浦・武器学校から)
- ◆2等陸曹
- 石川 遼大(東千歳・第1陸曹教育隊から)
- ◆3等陸曹
- 細川 大地(相浦・第1水陸機動連隊から)
- ◆2等陸曹
- 小出 明生(福岡・第19普通科連隊から)
- 安藤 浩士(真駒内・第11旅団司令部付隊から)
- 西沼 佑司(遠軽・第25普通科連隊から)
- ◆3等陸曹
- 山田 啄也(旭川・第26普通科連隊から)

旅団レンジャー 養成集合教育



連隊は、5月8日(月)から8月4日(金)までの間、「令和5年度旅団レンジャー集合教育」を担任・実施した。
本教育では、体力調整、山地潜入、水路潜入、空路潜入、破壊、生存自活、格闘等の基礎訓練を経て体力・技術を向上させ、9コの想定に区分された行動訓練に移行した。
3夜4日の最終想定では、体力・気力が限界の中、戦闘隊として任務を完遂し駐屯地に帰還した。
連隊から4名の精鋭が参加し、最終的には2名の隊員が全ての訓練を通過し、帰還式において担任官からレンジャー徽章が授与された。今後中隊における活躍を期待する。



連隊らっぱ競技会

見事な演奏で第2普通科中隊優勝！

連隊は、7月23日(日)、大運動会と並行して「連隊らっぱ競技会」を開催した。
過去の記念行事の中で競技会を開催した前例がなかったが、「ご来場の皆様ならっぱ吹奏を通じて、もっと自衛隊のことを知って欲しい。」という強い思いから今回実現することとなった。
本競技会は、協力団体の審査員も含めた審査により、個人演奏と合同演奏の区分で競われ、第2普通科中隊が見事合同吹奏の部で「優勝」を果たした。



▶個人演奏にて優勝した服部3曹(2普中)
▶合同演奏にて優勝した第2普通科中隊

防災訓練を通じ 地域住民との信頼関係を醸成

連隊は、6月10日(土)北海道古宇郡(ふるうぐん)泊村(とまりむら)において実施された「泊村防災訓練」に第1普通科中隊の14名が参加した。
泊村は、北海道で唯一の原子力発電所「泊発電所」が存在し、当日は多数の地域住民が避難場所への避難訓練に参加した。連隊が泊村公民館で実施した人命救助システム及び装備車両の展示・説明、野外炊具による炊き出しにも多くの村民が訪れ、野外炊具による炊き出しでは、調理した特製カレーを約140名の地域住民及び自治体の皆様に提供し味わっていただき、「とても美味しい!」「避難しているときに食べられたら嬉しい」など数々の感謝や感想をいただいた。

泊村は、近年頻発する全国各地での地震また、道内における鳥インフルエンザの蔓延等の各種災害に迅速かつ的確に対応すべく、緊張感をもって災害対応能力の向上を図るとともに、引き続き各種防災訓練に積極的に参加して、関係自治体及び機関並びに各協力団体との更なる信頼関係を醸成し、連携強化を図っていく。



旅団冬季遊撃集合訓練

厳しい積雪寒冷地での戦闘行動

連隊は、3月6日(月)から3月10日(金)までの間、北海道大演習場西岡地区及び朝里岳周辺において「令和4年度旅団冬季遊撃集合訓練」を実施した。
本訓練は、旅団の冬季遊撃特技能保有者8名を対象として、襲撃任務に係わる計画の策定能力の向上及び潜入・襲撃・離脱までの戦闘下における状況判断能力の向上を目的として実施した。
当初、冬季において使用する雪崩トランシーバ、プロローブ、アイゼン、ピッケル等の各種器材の取り扱いについて復習するとともに、行動訓練においては、約25kgにも及ぶ重装備を携行し約10kmのスキー機動(潜入)の後、想定上の敵部隊を襲撃して離脱するまでの一連の行動について演練し、その練度の向上を図った。

本訓練に参加した田代2曹(札幌市出身)は、「冬季における気象条件の厳しい中、戦闘行動に必要な練度向上のほか、副課目で実施した雪崩発生時の遭難者救助要領についても体得することができ、大変有意義な訓練であった。」と所見を述べた。



「陸上自衛官」となつて旅立つ

自衛官候補生課程



連隊は、4月3日(月)から6月30日(金)までの間、「令和5年度自衛官候補生課程」を担任した。
自衛官候補生は、約3か月の期間で基本教練、射撃訓練、行進訓練、戦術訓練を演練し、自衛官となるため必要な知識・技能を習得するとともに、自衛官としての資質を向上した。また教育期間の終始を通じた団体生活により、21名の同期の絆は深まり、厚い信頼関係を構築した。
6月27日(火)には5名のご来賓及び14家族25名のご家族が見守る中、修了式を挙行し、同日付で21名の自衛官候補生が、「2等陸士」に任命され、担任官から修了証書を受け取って、北は名寄、南は朝霞で実施される新隊員特技課程に参加するため、それぞれの任地に旅立った。

旅団至近距離射撃競技会

第1普通科中隊チーム「第1位」

連隊は、5月25日(木)から5月26日(金)までの間、「令和5年度旅団至近距離射撃競技会」に参加し、小火器射撃(至近距離射撃)能力の向上、連隊及び中隊の団結の強化及び隊員の士気高揚を図ることができた。

演習場春季定期整備等の制約がある中、連隊練成射撃訓練の成果が実を結び、第1普通科中隊がチーム対抗の部で43チーム中「第1位」、連隊は、連隊・近接戦闘GPで「第2位」の成果を残すことができた。しかしながら、連隊・近接戦闘GPでは第1位との差が大きく課題の残る競技会となった。次回の競技会に向けた分析と、その分析内容を今後の訓練に取り入れ、更なる練度向上を図っていく。



1中隊教官 突撃インタビュー



旅団至近距離射撃競技会チーム対抗の部 優勝チーム



Q 本競技会で教官として参加した第1普通科中隊 西村1曹にインタビューしました！

Q 競技会に向けた練成で着意したことは？

A 銃の取扱いから確実に基本基礎を徹底し、非実射訓練、実弾射撃訓練を段階的に訓練しました。指導部3名の認識統一もしっかりと行って指導にあたりました。

Q 指導部として競技会前に隊員にはどんな声掛けをしましたか？

A 前日に隊員それぞれに明確な目標点数を付与するとともに、いつも通り射撃できるように小まめに声を掛けて緊張をほぐしました。

Q 勝因は何だと思いますか？

A 1番は中隊全員が同じ目標を見据えていたことだと思います。選手だけでなく、その他の隊員も勤務等を通じ選手をバックアップしたのが大きい要因だと思います。

陸曹候補生試験を経て 陸曹候補生課程履修前教育

連隊は、5月8日(月)から6月2日(金)までの間、「令和5年度陸曹候補生課程履修前教育」を実施し、陸曹教育隊入校にあたり初級陸曹として必要な資質、基礎知識及び技能を修得させた。訓練を重視した最上級曹長からは、「命令下達と戦闘指導により、自らの企図を部下隊員に対して如何に徹底するか」について指導し、任務分析に基づく企図の徹底を行い、状況に応じ最良の行動方針を案出し戦うことがこれからの新たな戦い方に必要な重要な要素のひとつであり、特に注力して欲しいと助言して学生達のやる気を鼓舞した。

参加した学生は、本教育を無事に修了し、第一陸曹教育隊で教育参加中である。



災害時に活用するために

令和5年度第1次連隊災害用 ドローン操縦訓練

連隊は、6月12日(月)から6月16日(金)までの間、北海道大演習場島松地区において、令和5年度連隊ドローン操縦訓練を実施した。本訓練は、災害派遣時を想定した訓練と戦闘訓練を想定した訓練の区分で実施し、災害用ドローンに係る基本・応用操縦要領及び指導法について演練してその能力を向上させた。



陸曹候補生 入校の意気込み



本部管理中隊
通信小隊
はたなか ふうか
畑中 楓花
趣味：野球



陸曹候補生課程履修前教育では、男性の普通科隊員と同じ訓練をすることや慣れない組長や分隊長として部隊を指揮することは大変でしたが、ここで学んだ皆さんの事を忘れず入校したいと思います。

第103期陸曹候補生課程に入校するにあたって、初めて本州(朝霞)で教育に参加するので、猛暑に耐えられるのか、そして部隊から1人で遠く離れた地で3ヶ月間の教育、不安なこともたくさんありますが、今までの部隊での経験や履修前で学んだ事を生かし自分の理想とする陸曹を目指し頑張ります！部隊に帰ってから即戦力となるよう、教育では持ち前の元氣と明るさで積極果敢に取り組みたいと思います。

日頃の訓練の成果を試してみませんか？！

2023 さっぽろさよならマラソン

2023年11月5日(日)開催予定
会場：真駒内公園～豊平川河川敷

9月下旬申込受付開始
詳細は公式ホームページから



主催：さっぽろさよならマラソン大会事務局
運営：株式会社エムエーススポーツサービス、株式会社スポーツインジャパン

オリジナル
キャップ・Tシャツ
格安で作成できます！

1,200円～
キャップ

1,500円～
Tシャツ

トートバッグ
300円～

担当：江川 聡
090-6878-7458

詳細は当店ホームページからご確認ください

〒005-0802 札幌市南区川沿2条4丁目1-24
TEL:011-573-6000 FAX:011-573-6006
m.a.s.service@gmail.com

自衛官募集



募集対象者18～32歳
ご希望の方はこちら！！
入隊希望者の情報提供も大歓迎！
第18普通科連隊援護室
011-581-3191(内2569)

「家族を守る！自己防衛を」

公務員でもできるマンション経営で
一室のオーナーとなり
景気に左右されない
私的な年金と一緒に作りませんか？

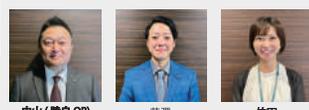
マンションによる資産形成は
創業32年のコスモリクエストにお任せ下さい

マンション経営の6つのメリット

1. 自己資金0円からスタートができる
2. 公的年金に次ぐ私的な年金になる
3. 現物資産で安定・高利回り
4. 生命保険のかわりになる
5. 高い節税効果生まれる
6. 管理の手間がかからない

オンライン面談実施中

自衛官を対象したセミナー
個別資産形成相談会開催実績あり



中山(離自OB) 花澤 竹田

Cosmo Request 育てよう、未来の資産
〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル2F

株式会社コスモリクエスト
TEL:03-5425-6231(代)/FAX:03-5425-6237

Design Editing Printing

斬新な美を追求し、
確実に情報を伝え、
思いどおりを型に。

株式会社 横山プリントサービス社

〒063-0830 札幌市西区発寒10条12丁目1 TEL(011)669-3915 FAX(011)669-3916

All Roads Lead to Roman

～すべての道はロマンに通ず～

D 道路工業株式会社

本社／〒064-8560 札幌市中央区南8条西15丁目2番1号
TEL(011)561-2251 FAX(011)513-2119

営業所／札幌・日胆・道南・後志・旭川・留萌稚内・十勝・釧路・網走・関東
URL: http://www.dorokogyo.co.jp/

債務整理／交通事故／不動産／離婚／相続／刑事 他

初回相談料不要・秘密厳守・夜間相談可

石川総合法律事務所

ISHIKAWA GENERAL LAW OFFICE

<☎電話受付時間>
平日 10:00～21:00
土・日・祝 10:00～18:00

〒060-0002
札幌市中央区北2条西2丁目4番地
札幌2・2ビル2階

弁護士 石川 貴博
(札幌弁護士会所属)



一緒に「イチオシ!!」



月～金 3:45～

ユメビル、チャプ6 HTB



Asahi SUPER "DRY" 生

新・辛口〈生〉

ビール ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。ほどよく、楽しく、いいお酒。のんだあとはリサイクル。

すべては、お客さまの「うまい!」のために。アサヒビール株式会社

廃車はどんなクルマも買取る廃車王にお任せ下さい。

古い車 車検切れ 走行

廃車買取の流れ

- 1 買取申込み
- 2 引取日時の予約
- 3 お車の引取 お支払い
- 4 抹消登録

普通車 20,000円～ 軽自動車 9,000円～ ※価格変更の場合あります

廃車王

札幌清田店 ☎(011)882-1770 札幌市清田区有明340番5





アサヒビール園 羊々亭
Lamb & Matton Dining YOYOTEI

総席数 256席
VIPルーム『彩』6名様、8名様収容
VIPルーム『華』12名様収容
ご宴会フロア
40名様、56名様、72名様収容

個室から各種ご宴会ブース席をご用意しております。

お問合せは、090-5955-0515 担当 小泉
札幌市中央区南4条西4丁目松岡ビル 5F TEL 241-8831




アサヒビール園 白石店
～ニーズに合わせて2店舗～

アサヒビール北海道工場隣接ならではの
うまい！スーパードライが自慢です！！

ジンギスカン・焼肉・しゃぶしゃぶ 焼肉・寿司・デリカ/ビュッフェレストラン

はまなす館 **ロイン亭** 白石店

お問合せは、090-5955-0515 担当 小泉
札幌市白石区南郷通4丁目南1-1 TEL 863-5251



保険のご相談は私たちにお任せください

幅広保障の医療保険
ワイド・プロテクト
医療保険(有配当/2022)

Hello Kitty © 2023 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L642257
「ハローキティ」は、
フコク生命のイメージキャラクターです。

ちょうどいい、わたしの保険
未来のとびら
特約組立型総合保険(有配当/2022)

富国生命保険相互会社 札幌支社 札幌営業所
〒060-0034 札幌市中央区北4条東 1-2-3 札幌フコク生命ビル 5F ☎ 011-207-2175

人と人の間に
フコク生命
THE MUTUAL

☎ 03-0061 (2023.6.29)



登別温泉 **登別万世閣**
洞爺湖万世閣 **ホテルレイクサイドテラス**
定山渓万世閣 **ホテルミリオナー**

万世閣ホテルズ 札幌本部 担当:土屋 0570-08-3500



総合ビル テナント 公共施設

定期清掃・巡回清掃
おまかせください。

有限会社 エスケー・コーポレーション

お問い合わせは

■営業所/〒005-0822 札幌市南区南沢 2条 4丁目 1番 9号
TEL: 011-522-5391 FAX: 011-522-5392
■E-MAIL/p-kawa@energy.ocn.ne.jp

防衛省・自衛隊に
お勤めの皆様へ

大切な思い出
京王プラザホテル札幌で
増やしませんか？

各種ご宴会・ご法要・ご会食など
札幌の老舗総合シティホテルならではの
上質なサービスで
皆様をお迎えいたします。

詳細は 宴会料数予約担当
011-271-1101 まで
お気軽にお問合せください



KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO

お買物は隊員皆様の駐屯地売店
真駒内駐屯地 委託売店会

ファミリーマート	チュレプヘア	カフェ・ド・マール	サンシャイン クリーニング	ミツワ食堂	セイコーマート	ダンデライオン
----------	--------	-----------	------------------	-------	---------	---------

総合保険代理店
ユニオン・エーгентオフィス
Union Agent office.CO.,LTD.

代表取締役
吉田 晶 英
防衛省担当
大宮 千 鶴



営業オフィス/〒060-0032 札幌市中央区北2条東3丁目2-4
Prod.23-203
TEL (011) 222-2221 FAX (011) 222-2228
携 帯: 080-5723-1794
E-mai: oomiya@union-ao.jp
URL http://www.union-ao.jp



NORTH LAND PRIDE
家族を守る家

屋根・壁面で年中太陽光発電 / 蓄電
積雪・災害・停電時 自立運転システム搭載

PRODUCE BY 藤城建設 / 札幌市東区中沼町33番地

TEL: 011-791-2220





フォトコーナー



札幌市自衛隊協力会へ入会しませんか。

札幌市自衛隊協力会とは

自衛隊に対する理解を深め、郷土の安全と自衛隊の健全な発展を期待して活動する団体です。また、会員同士の親睦活動もおこなっています。

会員数は約3,000名、全市で約70団体あります。

札幌市自衛隊協力会の活動の一部を紹介します。

入隊予定者激励会への支援、協力

これからの日本の国防を背負う、自衛隊への入隊予定者を励ますイベントを開催しています。



自衛隊音楽隊による演奏があります。

自衛隊施設見学会の実施

自衛隊への理解を深めるため、会員が企画・募集し、自衛隊施設の見学会を行います。希望される方にはヘリコプターへの体験搭乗などを行っています。



雪まつり雪像制作部隊への慰問

札幌の冬の一大イベント、「さっぽろ雪まつり」の雪像を制作する、隊員の方々を激励します。



機関紙「もくれん」の発行支援

札幌の人々を守るため、日夜訓練に励む陸上自衛隊第18普通科連隊の活動を紹介する機関紙「もくれん」の発行を支援しています！



1口500円でどなたでもご入会いただけます。詳しくはお住まいの区の区役所地域振興課へお問合せください。

編集 札幌市自衛隊協力会事務局 TEL 211-2252

隊内生活体験入隊

隊内生活体験入隊とは...

一般の国民に、短期間ですが、自衛隊の駐屯地(基地)などの中で、隊員と同じような日課で、起居宿泊する生活を味わい、自衛隊や隊員の行動の一部を体験していただくものです！

今年は4月に1件の企業から申し込みがあり、新入社員2名に対し基本教練、ロープワーク及び12km徒步行進の内容で実施した実績があります。



各企業の皆様
お問い合わせはこちら!!

第18普通科連隊広報室
011-581-3191(内2565)



18 連隊ホームページ 是非！ご覧ください

第18普通科連隊

検索



http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/garrison_hp/18i/18.html